

1923年の児童愛護デーの全国的な運動の実態

○ 東日本国際大学 菊池義昭 (00095)

キーワード 児童愛護デー 子どもの権利 児童福祉史

1. 研究目的

本報告は、大正デモクラシーという新しい潮流を背景に、1921（大正10）年4月24日に日本幼稚園協会の呼びかけにより各地の幼稚園でも実施した児童保護宣伝が、その後全国的な児童愛護デーの運動に発展していく実態を解明する研究の一環で実施し、今回は1923（同12）年の全国的な運動の全体像（実態）を明らかにすることが目的である。また、この運動は、日本で最初に子どもの存在そのものの重要性を主張した全国規模の運動であったと理解でき、その意味でこの運動の内容分析から、日本の民衆レベルにおける子どもの権利保障の意識形成の萌芽の有無が確認できると筆者は仮定する。さらに、この運動は、昭和戦前期、同戦中期に入るとその目的が変質してくるので、その中で民衆レベルにおける子どもの権利保障の意識も消滅もしくは潜在化していくとみられ、将来的にはこの点についての分析も視野に入れて研究していきたいと考える。

2. 研究の視点および方法

1923年の児童愛護デーの運動の全体像は、『日本社会事業年鑑』（大正13年11月5日発行）の「子供愛護デー」（172頁、173頁）および、全国47都道府県立図書館に所蔵する地元新聞に掲載された、児童愛護デーに関する新聞記事を調査、収集し、分析した。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の「研究倫理指針」に基づき、資料収集と分析を実施した。

4. 研究結果

1921年と1922（同11）年の児童愛護デーの全国的な運動の実態については、別稿（「大正期に実施した児童愛護デーの全国的な運動の実態」『地域社会福祉史研究』第7号、2017年3月、7頁から92頁）でまとめ、1921年は、「子供を丈夫に賢く育てる」などの主張に基づき、2府3県の5市町の9団体で、幼稚園児の旗行列、自動車による宣伝ビラの配布、親等への講演会などを実施した。特に、大阪市では、大阪児童学会他4団体が主催し、市内30余の婦人団体等の後援を得て、4月23日にコドモ宣伝デーが開催され、コドモ宣伝デーの趣旨の作成などを含め、10の活動が実施され、子どもの福利（権利）を啓蒙する市民的運動として実施されつつあったことを裏付けることができた。

さらに、1922年は、5月から6月に「子供を強く、賢く、善良に育てる」などを掲げて、3府16県の1郡27市10町2村の42団体へと大幅に拡大し、2年間の実施団体は延べ51団体であったことを確認した。このような実施府県や郡市町村の内容から、1922年の児童

愛護デーの運動は5月から6月にかけて全国的な規模の啓蒙運動に発展していたことが判明したことになる。特に、児童愛護連盟を設立した岡山市、神戸市、名古屋市、大阪市、京都市などは、市内が児童愛護デー一色になるような社会現象が出現し、一般市民に高い宣伝と啓蒙の効果あったと理解でき、今後児童愛護デーを含めた運動を継続的、長期的に実践していくことが予想できた。

そして、1923年の児童愛護デーの運動は、表1のように3府16県の18市13町2村の38団体（行政機関含む）で実施していたことが確認できた。

1923(大正12)年の児童愛護デーの開催状況				＜表1＞
開催日	名称	主催者または県市町村名	実施概要	記事掲載新聞名
4月1日	児童愛護デー	三重県松阪町青年会	展覧会、お伽会、講演	大阪朝日新聞
4月12日	児童愛護デー	岡山県津山市	展覧会、講演会、宣伝	
4月15日	児童愛護デー	大阪児童愛護連盟	講演会、行列、パンフレット宣伝	大阪朝日新聞他
4月22日	子供デー	大阪時事新報社	小冊子配布、講演会	大阪時事新報
4月28日-5月3日	児童愛護デー講演	福岡県小倉市各小学校	講演会	
4月29日	児童愛護講演会	九州大学小児科	講演会	
5月2日、3日	児童愛護デー	福岡県小倉市役所社会課	花売り、ビラ配布	門司新報
5月4日、5日	児童愛護デー	大分県庁主催(大分市)	講演会	大分新聞
5月4日	幼児愛護会	神奈川県横浜各幼稚園	音楽会、講演会	
5月4日	愛護デー	大分県佐伯町	ビラ宣伝、お伽会、玩具展覧会、講演会	大分新聞
5月4日-6日	児童愛護デー	京都児童愛護連盟	ペーゼント、お伽会、花売り、講演会、音楽会、児童劇	京都日出新聞
5月4日-6日	子供愛護デー	大分県中津町	旗行列、学芸会、無料診療	大分新聞
5月4日-10日	児童愛護週間	和歌山県庁社会課(和歌山市)	ビラ配布、旗行列、優良児表彰、講演会、活動写真	大阪朝日新聞
5月5日	児童愛護デー	福島県福島市立幼稚園		福島民報他
5月5日	児童愛護デー	兵庫県姫路市児童愛護連盟	ビラ配布、審査会、講演会	
5月5日	児童愛護デー	和歌山県七川村	ビラ配布	大阪朝日新聞
5月5日	児童愛護デー	山口県庁社会課(山口町)	児童選奨ビラ宣伝、ポスター宣伝	防長新聞他
5月5日	子供デー	大分県竹田町竹田お伽会	お伽大会	大分新聞
5月5日	愛護デー	大分県三重町	お伽会、旗行列	大分新聞
5月5日-7日	子ども愛護宣伝	大阪府和泉子供研究会(佐野町)	ビラ配布、宣伝唱歌	
5月5日、6日	児童愛護デー	愛媛県松山市児童愛護会	優秀児童家庭献待会	愛媛新報
5月5日、6日	子ども愛護デー	島根県松江市子ども愛護連盟	ビラ配布、お伽会、講演会	
5月5日、6日	児童愛護デー	福岡県門司児童愛護連盟	ビラ配布、ポスター宣伝、煙火、旗行列、お伽会、無料診療	門司新報他
5月6日	子供愛護会	山梨県南都留郡谷村伝教少年団	花祭りを兼ね	山梨民報
5月6日	児童愛護宣伝	和歌山県箕島町	講演会、児童劇、唱歌	大阪朝日新聞
5月6日	子供愛護デー	大分県別府町	講演会、児童審査会、煙火、旗行列	大分新聞他
5月12日、13日	児童愛護デー	愛媛県松山児童愛護連盟	ビラ配布、講演会、音楽会、童話劇	愛媛新報
5月19日	児童愛護宣伝	香川県高松市中央幼稚園	ビラ配布、旗行列	大阪朝日新聞
5月25日、26日	子ども愛護デー	兵庫県神戸児童愛護連盟	娯楽会、お伽会、音楽会、童話劇、講演会	神戸新報他
5月30日	児童愛護デー	岡山県玉島町	講演会	山陽新報
6月5日	児童愛護デー	長野県庁社会課(愛国婦人会)	旗行列、ビラ配布	福島民報他
6月12日、13日	児童愛護デー	岡山県津山小学校	優良児表彰、行列、お伽会、講演会	山陽新報
6月18日-20日	児童愛護デー	広島県尾道市	雑記帳配布、講演会、児童劇	広島中国新聞
6月25日	児童愛護デー	広島社会協会	標語うちは配付	広島中国新聞他
7月5日	児童愛護デー	広島県鞆島町	講演会、活動写真、音楽会、お伽会	広島中国新聞
8月24日、28日	幼児健康講演	東京府東京市役所社会局	各所で講演会	東京朝日新聞
10月30日	児童愛護デー	岡山県倉敷児童愛護連盟	展覧会、審査会、講演会	山陽新報
12月8日	児童愛護デー	東京連合婦人会	ビラ配布、寄付金募集	東京朝日新聞

(『日本社会事業年鑑』(大正12年)と各新聞より作成)

5. 考察

このため、現時点では、昨年より3団体減少したことが確認できたが、ほぼ昨年並みの全国規模の運動が展開されたことが理解できた。特に、昨年実施していなかった三重県松阪町、岡山県津山町、福岡県小倉市、和歌山県和歌山市、兵庫県姫路市、山口県山口市などの5市7町2村の16団体で児童愛護デーを開催していた。一方、昨年から引き続き実施した主な団体は、大阪児童愛護連盟、大分県庁、京都児童愛護連盟、松山児童愛護会、松江子ども愛護連盟、神戸児童愛護連盟、長野県庁などであった。

さらに、児童愛護連盟を名乗る団体が9団体(広島社会協会を含む)あったが、これらは各市内の児童関係や婦人関係の団体の連合等で組織されたため、市民レベルの運動を展開し、同運動が定着していくことが理解できた。また、大分県庁、和歌山県庁、山口県庁、長野県庁、小倉市役所、東京市役所のような、県市レベルの行政機関が主催する形態も増加し、行政機関が児童愛護デーの運動を推進する方向に進むことも理解できた。